

7月14日～7月16日

道路標識・カーブミラーの清掃

組合員企業がボランティア

千葉県交通安全施設業協同組合（白鳥和重理事長）は、夏の交通安全運動に合わせ、今年も「県管理道路における警戒標識・カーブミラー・案内標識等に対し清掃・点検などのボランティア活動」を展開する。

今年度は7月14日～16日のうち2日間をボランティアで清掃・維持管理・点検作業を行う。



昨年実施した標識清掃している様子

交通安全施設の整備・補修を業務としている同協同組合（県内の企業24社）が、「道路の安全確保や県民の自己抑制は社会的

使命」という理念から、組合企業が「丸となり、ボランティアによる交通安全の推進・安全点検活動を行っている。

同組合（平成17年9月千葉県知事認可取得）は、道路のカーブミラー、標識など交通安全施設の整備・補修業務施行をしている県内企業24社が日頃から県交通安全対策推進委員会の一員として交通安全に取り組んでおり、毎年、県の道路環境向上に尽力し、県管理道路の案内・道路のカーブミラー・警戒標識を対象とした清掃・点検のほか、ボルトの緩みや支柱の腐食などについても併せて点検や角度調整の作業にあたる。



『子ども達の、光り輝く未来へ、県内の安全確保に務めます』（組合標語）